

# プラズマ・核融合学会誌

第90巻第3号

2014年3月

プロジェクトレビュー	非平衡極限プラズマネットワーク構想 -プラズマ物理学の新しい研究体制-	
	…………… 藤澤彰英, 伊藤公孝, 伊藤早苗, 上杉喜彦, 大野哲靖, 金子俊郎, 兒玉了祐, 白谷正治, 田中和夫, 畠山力三, 浜口智志, 米田仁紀	177
解 説	高温プラズマの X 線観測で宇宙の大規模構造の形成を探る ……………	大橋 隆 哉 183
講 座	プラズマプロセスを用いた炭素材料合成の実際と産業利用における課題 4. グラフェンの低温プラズマ CVD と透明電極応用へのロードマップ ……………	長谷川雅考, 石原正統, 山田貴壽, 沖川侑揮 190
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト……………		196
インフォメーション	……………	198
	ITER だより(44)	
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(44)	
	【会議報告】 International Symposium of Fusion Nuclear Technology (ISFNT-11)	
	【人事公募】	
Plasma & Fusion Calendar……………		205
本 会 記 事	……………	207
	PLASMA2014 一般講演の募集/PLASMA2014 若手優秀発表賞募集/広報委員会だより「第6回おもしろ科学教室での広報活動」/代議員候補者信任投票のお願い/学会賞募集のお知らせ 【こちら編集委員会です】春到来!いよいよ新年度です	

## 表紙の絵

KEIO-MARC コード (Numerical Code Kinetic Electron Transport in  $H^-$  Ion Sources by Multi-cusp Arc-discharge) により計算されたマルチカusp・アーク放電型負イオン源 (JAEA 10 A 負イオン源) 内の高速電子 (55-65 eV) 分布. 同コードはクーロン衝突・非弾性衝突を考慮したボルツマン方程式を解く. 高速電子は磁気ドリフトで上部へ輸送された後, 熱電子に緩和する. 実体系における電子エネルギー分布の解析は, 一様な負イオン生成の実現に不可欠である. (Takanori SHIBATA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.9, 1401011 (2014) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.